

科目名 (英)	シミュレーション実習Ⅲ (SimulationⅢ)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
学科・コース	救急救命士科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	270時間 (6)	開講区分 曜日・時間	前期 月曜日:3～4時限、金曜日:1～2時限
【授業の学習内容と心構え】							
救急救命士として様々な救急現場で傷病者を対応してきた教員および救急医療機関で多くの患者を対応してきた教員が、シミュレーション実習を通じて、様々な症例に対する適切な「観察」「判断」「処置」「搬送」の流れを習得するための授業を行う。 ここでは、改定第10版救急救命士標準テキストを中心とした事前学習と振り返りによって確実な知識を身につけるとともに、「安全」「確実」「迅速に」をモットーに『全ては傷病者のために！』常に何が必要かを考えられる救急救命士になるため、高い意識を持って実習に臨むことが必要不可欠である。							
【到達目標】							
①消防官または救急業務に携わる者として、どのような職場においても即戦力として活躍でき、周囲から必要とされる人材になる。 ②傷病者の病態を把握するための観察を通して、緊急度・重症度の判断を行い、適切な救急救命処置、病院選定ができる力を身につける。 ③「全ては傷病者のために！」をスローガンに、傷病者の立場や社会的背景などに配慮した救急活動が実践できる知識、技術を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
●改定第10版 救急救命士標準テキスト ●改訂第2版 JPTECガイドブック ●ビジュアルノート第5版 ●その他配布資料				●改定第10版救急救命士標準テキストを基盤とした確実な読み込みを行うことをはじめ、別に配布する事前学習シートを作成し、実習開始前に提出することが絶対条件である。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1,2	【授業単元】状況設定問題から活動を考える 【授業形態】演習 【到達目標】 ①20分耐久胸骨圧迫を通して自らが救急救命士としての自覚と救急救命士としての覚悟を再認識する。 ②質の高い胸骨圧迫を実施できる。			17～19	【授業単元】外傷:総合訓練 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①JPTECにおける活動の目的、意義を再確認する。 ②傷病者の「緊急度・重症度」を適切に判断できる。 ③ロードアンドゴーの概念を理解した活動ができる。 ④確実な「観察」「処置」「搬送」「車内活動」ができる。		
3,4	【授業単元】状況設定問題から活動を考える 【授業形態】演習 【到達目標】 ①状況評価から救急隊としての活動方針を決める。 ②活動方針を傷病者の病態に合わせた活動ができる。 ③「観察」⇒「判断」⇒「処置」⇒「評価」の順で適宜実施でき、適切な医療機関へ遅滞なく搬送に結びつける活動ができる。			20,21	【授業単元】外傷活動振り返り／意識障害想定作成 【授業形態】実習 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④容態変化を予測した継続観察と救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。		
5,6	【授業単元】頭痛 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①状況評価から救急隊としての活動方針を決める。 ②活動方針を傷病者の病態に合わせた活動ができる。 ③「観察」⇒「判断」⇒「処置」⇒「評価」の順で適宜実施でき、適切な医療機関へ遅滞なく搬送に結びつける活動ができる。			22～24	【授業単元】意識障害 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④容態変化を予測した継続観察と救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。		
7,8	【授業単元】頭痛 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①状況評価から救急隊としての活動方針を決める。 ②活動方針を傷病者の病態に合わせた活動ができる。 ③「観察」⇒「判断」⇒「処置」⇒「評価」の順で適宜実施でき、適切な医療機関へ遅滞なく搬送に結びつける活動ができる。			25,26	【授業単元】症候学 【授業形態】C・D問題演習 【到達目標】 痙攣、運動障害、感覚障害、めまい、呼吸困難、咯血についての想定問題を理解し解答を導くことができる。		
9,10	【授業単元】頭痛 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①状況評価から救急隊としての活動方針を決める。 ②活動方針を傷病者の病態に合わせた活動ができる。 ③「観察」⇒「判断」⇒「処置」⇒「評価」の順で適宜実施でき、適切な医療機関へ遅滞なく搬送に結びつける活動ができる。			27～29	【授業単元】意識障害 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④容態変化を予測した継続観察と救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。		
11,12	【授業単元】外傷:総合訓練 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①JPTECにおける活動の目的、意義を再確認する。 ②傷病者の「緊急度・重症度」を適切に判断できる。 ③ロードアンドゴーの概念を理解した活動ができる。 ④確実な「観察」「処置」「搬送」「車内活動」ができる。			30,31	【授業単元】意識障害活動振り返り／痙攣・めまい想定作成 【授業形態】演習 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④容態変化を予測した継続観察と救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。		
13,14	【授業単元】外傷:総合訓練 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①JPTECにおける活動の目的、意義を再確認する。 ②傷病者の「緊急度・重症度」を適切に判断できる。 ③ロードアンドゴーの概念を理解した活動ができる。 ④確実な「観察」「処置」「搬送」「車内活動」ができる。			32～34	【授業単元】痙攣・めまい 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④容態変化を予測した継続観察と救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。		
15,16	【授業単元】症候学 【授業形態】C・D問題演習 【到達目標】 心肺停止、ショック、アナフィラキシー、蕁麻疹、意識障害、頭痛についての想定問題を理解し解答を導くことができる。			【評価について】 合計100点満点で評価し、内訳は以下のとおりとする。 ●60点:実技試験 ●30点:小テスト ●10点:出席(10点×出席率で算出)を期末試験の評価とする。(小数点以下切り捨て)			
【特記事項】							

科目名 (英)	シミュレーション実習Ⅲ (SimulationⅢ)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
学科・コース	救急救命士科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	270時間 (6)	開講区分	前期 月曜日:3～4時限、金曜日:1～2時限
【授業の学習内容と心構え】							
救急救命士として様々な救急現場で傷病者を対応してきた教員および救急医療機関で多くの患者を対応してきた教員が、シミュレーション実習を通じて、様々な症例に対する適切な「観察」「判断」「処置」「搬送」の流れを習得するための授業を行う。 ここでは、改定第10版救急救命士標準テキストを中心とした事前学習と振り返りによって確実な知識を身につけるとともに、「安全」「確実」「迅速に」をモットーに「全ては傷病者のために」常に何が必要かを考えられる救急救命士になるため、高い意識を持って実習に臨むことが必要不可欠である。							
【到達目標】							
①消防官または救急業務に携わる者として、どの様な職場においても即戦力として活躍でき、周囲から必要とされる人材になる。 ②傷病者の病態を把握するための観察を通して、緊急度・重症度の判断を行い、適切な救急救命処置、病院選定ができる力を身につける。 ③「全ては傷病者のために！」をスローガンに、傷病者の立場や社会的背景などに配慮した救急活動が実践できる知識、技術を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
●改定第10版 救急救命士標準テキスト ●改訂第2版 JPTECガイドブック ●ビジュアルノート第5版 ●その他配布資料				●改定第10版救急救命士標準テキストを基盤とした確実な読み込みを行うことをはじめ、別に配布する事前学習シートを作成し、実習開始前に提出することが絶対条件である。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
35,36	【授業単元】症候学 【授業形態】C・D問題演習 【到達目標】 失神、胸痛、動悸、腹痛、吐血・下血、窯背部痛についての想定問題を理解し解答を導くことができる。			55,56	【授業単元】症候学 【授業形態】C・D問題演習 【到達目標】 妊婦(性器出血、産科救急)、小児(アナフィラキシー意識障害、痙攣、呼吸困難、吐血・下血)についての想定問題を理解し解答を導くことができる。		
37~39	【授業単元】痙攣・めまい 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード&ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④容態変化を予測した継続観察と救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。			57~59	【授業単元】喀血・吐血・下血 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード&ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④容態変化を予測した継続観察と救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。		
40,41	【授業単元】痙攣・めまい想定振り返り／呼吸困難想定作成 【授業形態】演習 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード&ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④容態変化を予測した継続観察と救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。			60,61	【授業単元】喀血・吐血・下血振り返り／運動麻痺・一過性意識消失と失神想定作成 【授業形態】演習 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード&ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④容態変化を予測した継続観察と救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。		
42~44	【授業単元】呼吸困難 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード&ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④容態変化を予測した継続観察と救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。			62~64	【授業単元】運動麻痺・一過性意識消失と失神想定作成 【授業形態】演習 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード&ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④容態変化を予測した継続観察と救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。		
45,46	【授業単元】症候学 【授業形態】C・D問題演習 【到達目標】 嘔吐・下痢、感染症、精神障害、ストレス障害、排尿障害コミュニケーションについての想定問題を理解し解答を導くことができる。			65,66	【授業単元】運動麻痺・一過性意識消失と失神想定作成 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード&ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④容態変化を予測した継続観察と救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。		
47~49	【授業単元】呼吸困難 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード&ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④容態変化を予測した継続観察と救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。			67,68	【授業単元】定期試験、解答解説 【授業形態】 【到達目標】		
50,51	【授業単元】呼吸困難想定振り返り／喀血・吐血・下血想定作成 【授業形態】演習 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード&ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④容態変化を予測した継続観察と救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。						
52~54	【授業単元】喀血・吐血・下血 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード&ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④容態変化を予測した継続観察と救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。				【評価について】 合計100点満点で評価し、内訳は以下のとおりとする。 ●60点:実技試験 ●30点:小テスト ●10点:出席(10点×出席率で算出)を期末試験の評価とする。(小数点以下切り捨て)		
【特記事項】							

科目名 (英)	シミュレーション実習Ⅲ (SimulationⅢ)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	坂口 晃 ・ 能登 誠
学科・コース	救急救命士科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	270時間 (6)	開講区分 曜日・時間	後期 金曜日・3～4限
【授業の学習内容と心構え】							
救急救命士として現場経験のある教員が授業を担当する。最終学年次として、これまで培った技術を持ち、プロフェッショナルとしての自覚を持つことが必要不可欠です。そのためには救急救命士国家試験に合格しなければなりません。社会人1年目から救急救命士として個々人が社会に貢献できる人材になるために、医学的根拠のあるしっかりした知識を身につけるため、改訂第10版救急救命士標準テキストを読み込みましょう。							
【到達目標】							
①消防官、救急業務に携わる者として、どのような職場においても対応でき、周囲から必要とされる人材になる。 ②病態生理を理解した症状変化を見逃すことなく、必要な観察及び救急救命処置ができるとともに、緊急度・重症度に基づく病院選定ができる判断力を身につける。 ③「全ては傷病者のために！」をスローガンに、傷病者の立場や社会的背景なども想像できる救急活動が実践できる知識、技術を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
●改定第10版 救急救命士標準テキスト ●第2版 JPTECガイドブック ●ビジュアルノート第5版 ●その他配布資料				●改定第10版救急救命士標準テキストを基盤とした確実な読み込みを行うことから別に配布する事前学習シートを作成し、実習開始前に提出することが絶対条件です。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
69	【授業単元】前期の振り返り／腰部通・背部痛想定作り 【授業形態】演習 【到達目標】			90.91	【授業単元】胸痛振り返り／動悸想定作成 【授業形態】演習 【到達目標】 ①現場活動から車内活動の「詳細観察」・「重点観察」・「継続観察」の違いを理解する。 ②車内活動で「詳細観察」・「重点観察」・「継続観察」の違いに応じた活動ができる。		
70.71	【授業単元】在宅医療 【授業形態】C・D問題演習 【到達目標】 意識障害、呼吸困難、感染症、排尿障害についての想定問題を理解し解答を導くことができる。			92.93	【授業単元】外傷 【授業形態】C・D問題演習 【到達目標】 歩行者・自転車、墜落、転落・転倒、挟圧、打撲についての想定問題を理解し解答を導くことができる。		
72-75	【授業単元】腰部通・背部痛 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①状況評価から救急隊としての活動方針を決める。 ②活動方針を適宜修正をかけた活動が行う。 ③「観察」⇒「判断」⇒「処置」⇒「評価」の順で適宜実施でき、遅滞なく適切な対応ができる。			94-96	【授業単元】動悸 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。		
76-78	【授業単元】腰部通・背部痛 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。			97.98	【授業単元】動悸 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。		
79.80	【授業単元】腰部通・背部痛振り返り／胸痛想定作成 【授業形態】演習 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。			99.100	【授業単元】外傷 【授業形態】C・D問題演習 【到達目標】 穿通創(顔面、頸部、胸部、腹部、下肢)についての想定問題を理解し解答を導くことができる。		
81.82	【授業単元】多数傷病者対応、外傷 【授業形態】C・D問題演習 【到達目標】 中毒、交通事故、最先着救急隊、応援救急隊、四輪車、自動二輪車についての想定問題を理解し解答を導くことができる。			101.102	【授業単元】動悸振り返り／腹痛想定作成 【授業形態】演習 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。		
83-86	【授業単元】胸痛 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。			103-105	【授業単元】腹痛 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。		
87-89	【授業単元】胸痛 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。			【評価について】 合計100点満点で評価し、内訳は以下のとおりとする。 ●60点:実技試験 ●30点:小テスト ●10点:出席(10点×出席率で算出)を期末試験の評価とする。(小数点以下切り捨て)			
【特記事項】							

科目名 (英)	シミュレーション実習Ⅲ (SimulationⅢ)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員
学科・コース	救急救命士科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	135時間 (3)	開講区分 曜日・時間
				後期 金曜日・3～4限		
【授業の学習内容と心構え】						
救急救命士として現場経験のある教員が授業を担当する。最終学年次として、これまで培った技術をもち、プロフェッショナルとしての自覚を持つことが必要不可欠です。そのためには救急救命士国家試験に合格しなければなりません。社会人1年目から救急救命士として個々人が社会に貢献できる人財になるために、医学的根拠のあるしっかりした知識を身につけるため、改訂第10版救急救命士標準テキストを読み込みましょう。						
【到達目標】						
①消防官、救急業務に携わる者として、どのような職場においても対応でき、周囲から必要とされる人財になる。 ②病態生理を理解した症状変化を見逃すことなく、必要な観察及び救急救命処置ができるとともに、緊急度・重症度に基づく病院選定ができる判断力を身につける。 ③「全ては傷病者のために！」をスローガンに、傷病者の立場や社会的背景なども想像できる救急活動が実践できる知識、技術を身につける。						
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】		
●改定第10版 救急救命士標準テキスト ●第2版 JPTECガイドブック ●ビジュアルノート第5版 ●その他配布資料				●改定第10版救急救命士標準テキストを基盤とした確実な読み込みを行うことから別に配布する事前学習シートを作成し、実習開始前に提出することが絶対条件です。		
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要	
106.107	【授業単元】腹痛 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。			124.125	【授業単元】応用総合訓練 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。	
108.109	【授業単元】外傷 【授業形態】C・D問題演習 【到達目標】 巻き込まれ、スポーツ、熱傷、電撃症、刺咬症、小児(挟圧)についての想定問題を理解し解答を導くことができる。			126.127	【授業単元】環境障害 【授業形態】C・D問題演習 【到達目標】 窒息、熱中症、低体温症、放射線事故についての想定問題を理解し解答を導くことができる。	
110.111	【授業単元】腹痛振り返り／体温上昇想定作成 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。			128.129	【授業単元】応用総合訓練 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。	
112-114	【授業単元】体温上昇 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。			130-132	【授業単元】応用総合訓練 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。	
115.116	【授業単元】体温上昇 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。			133.134	【授業単元】応用総合訓練 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。	
117.118	【授業単元】中毒 【授業形態】C・D問題演習 【到達目標】 医薬品中毒、有機リン、ガス中毒についての想定問題を理解し解答を導くことができる。			135.136	【授業単元】環境障害 【授業形態】C・D問題演習 【到達目標】 減圧障害、酸素欠乏、妊婦(窒息)小児(窒息、溺水)についての想定問題を理解し解答を導くことができる。	
119.120	【授業単元】体温上昇振り返り／応用総合訓練想定作成 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。			137.138	【授業単元】定期試験／振り返り 【授業形態】 【到達目標】	
121-123	【授業単元】応用総合訓練 【授業形態】実習(ロールプレイ) 【到達目標】 ①情報から現場活動の優先順位を判断できる。②観察結果から病態を判断しロード＆ゴーを判断できる。③病院選定ができる。④継続観察と容態変化を予測した救急処置ができる。⑤チーム活動を組み立て、指揮できる。			【評価について】 合計100点満点で評価し、内訳は以下のとおりとする。 ●60点:実技試験 ●30点:小テスト ●10点:出席(10点×出席率で算出)を期末試験の評価とする。(小数点以下切り捨て)		
【特記事項】						

科目名 (英)	総合基礎Ⅱ	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
学科・専攻	救急救命士科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	360時間 (24)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日 1～4時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 長年に渡り大学・短大・資格予備校等で公務員合格指導に携わっている教員が、判断推理および空間把握の内容について、基礎固めからはじめ実践力(得点力)を身につける講義を行う。							
【到達目標】 東京消防庁消防官採用試験をはじめとする公務員試験の合格を目標とする。							
【使用教科書・教材・参考書】 オープンセサミ「一般知能」、各種公務員試験の過去問から頻出問題を厳選する。				【授業外における学習】 特に、各自の反復練習に期待する。			
授 業 概 要				授 業 概 要			
【授業単元】 空間把握 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 完全理解 平面図形				【授業単元】 判断推理 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 完全理解 試合・証言・暗号・数量			
【授業単元】 空間把握 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 完全理解 折り紙・軌跡				【授業単元】 判断推理 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 完全理解 日暦・手順・道順			
【授業単元】 空間把握 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 完全理解 立体構成				【授業単元】 判断推理・空間把握 【授業形態】 演習 【到達目標】 完全理解 総まとめ演習			
【授業単元】 空間把握 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 完全理解 展開図				【授業単元】 判断推理・空間把握 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 完全理解 総まとめ演習			
【授業単元】 空間把握 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 完全理解 投影・切断				【授業単元】 判断推理・空間把握 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 完全理解 総まとめ演習			
【授業単元】 空間把握 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 完全理解 回転体・移動・経路				【授業単元】 判断推理・空間把握 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 完全理解 総まとめ演習			
【授業単元】 判断推理 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 完全理解 順序関係・対応関係				【授業単元】 判断推理・空間把握 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 完全理解 総まとめ演習			
【授業単元】 判断推理 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 完全理解 集合・論理・位置関係				【評価方法について】			
【特記事項】 詳細はコマシラバスをご参照ください。							

科目名 (英)	総合基礎Ⅱ (Preparation for the civil service examⅡ)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
学科・専攻	救急救命士科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	360時間 (24)	開講区分 曜日・時間	前期/後期
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 長年に渡って消防を中心とした公安職の公務員対策に携わってきた教員が、公務員試験の重要度の高い問題を解説することで、1次試験の合格に必要な知識を学ぶ。							
【到達目標】 東京消防庁Ⅰ類、Ⅱ、Ⅲ類及び政令指定都市消防の教養試験の合格のための基礎力をつける。東京消防庁Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ類、警視庁、東京都1類B、特別区1類の過去問を中心に、教養科目の模擬試験を中心とした授業を行い、誤答の多い問題の解答解説を行う。また、論文試験に必要なスキルを学ぶ。							
【使用教科書・教材・参考書】 オープンセサミシリーズ 公務員 国家公務員地方初級 一般知能 2020 オープンセサミシリーズ 公務員 国家公務員地方初級 数学理科 2020				【授業外における学習】 公務員試験において計算能力と漢字の読み書き、英語の読解力が重要になるので、毎日、Teams上にアップロードした基礎問題への取り組みが求められる。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
	【授業単元】 総合模試・数学 第1章 数と式 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 因数分解ができる。指数対数の計算ができる。				【授業単元】 総合模試・物理 第3章 力のつりあい 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 力とはなにかを理解し、力のつりあい、力のモーメントの問題を解答できる。		
	【授業単元】 総合模試・数学 第2章 2次関数 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 解の公式や平方完成を用いて、2次関数、2次方程式の問題を解答できる。				【授業単元】 総合模試・物理 第4章 運動の法則 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 運動の法則とは何かを理解し、摩擦力と物体の運動の問題を解答できる。		
	【授業単元】 総合模試・数学 第3章 絶対値と不等式 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 絶対値を含む方程式と不等式の計算ができる。				【授業単元】 総合模試・物理 第7章 エネルギー 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 運動量、仕事、力学的エネルギー、熱に関する定義を理解し、同分野の問題を解答できる。		
	【授業単元】 総合模試・数学 第5章 三角比と三角関数 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 三角関数とは何かを理解し、正弦定理や余弦定理を用いて三角方程式の問題を解答できる。				【授業単元】 総合模試・物理 第8章 波動 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 波の性質を理解し、光、レンズ、音波に関する問題について解答できる。		
	【授業単元】 総合模試・数学 第6章 数列 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 等差数列、等比数列の公式を用いて、数列の問題を解答できる。				【授業単元】 総合模試・化学 物質の構成と化学の基礎 【授業形態】 講義 【到達目標】 周期表の見方を理解し、化学の基礎法則、主要な元素の特徴について理解する。		
	【授業単元】 総合模試・物理 第1章 速度・加速度 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 vtグラフを用いて速度・加速度の問題を解答できる。				【授業単元】 総合模試・化学 化学結合 【授業形態】 講義 【到達目標】 原子の電子配置を理解し、分子構造やイオン、化学結合の仕組みを理解する。		
	【授業単元】 総合模試・物理 第2章 落体の運動 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 平方完成を用いて、自由落下、鉛直投げ上げ投げ下ろしの問題を解答できる。				【授業単元】 定期試験、解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 東京消防庁Ⅰ類出題レベル問題を解答することができる。		
	【授業単元】 中間試験、解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 東京消防庁Ⅰ類レベル問題を解答できる。				【評価方法について】 中間試験40点と定期試験60点で総合し、A～Fの6段階で評価を行う。中間試験、定期試験ともに記述問題で構成される。式と答の両方を正解しないと得点にならない。		
【特記事項】							

科目名 (英)	総合基礎Ⅱ	必修 選択	必修	年次	3年	
	(Preparation for the civil service examⅡ)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	360時間 (24)	前期/後期
学科・専攻	救急救命士科					
【授業の学習内容と心構え】 専門学校の教員として、公務員試験科目(人文・社会)を担当してきた教員が、公務員試験合格のための授業を実施する。具体的には首都圏の消防官試験の合格を目指すための「過去問題演習(人文・社会分野)と解説」を中心としたものである。また、「小論文」の比重が高まっていることから、過去出題されている課題を例にとり、小論文作成のポイントを整理して理解することできる授業である。授業実施後には、自信をもって消防官試験を受験するレベルに到達することができる。						
【到達目標】 消防官試験で出題された人文・社会の問題について、各選択肢の論点が正確に理解できる程度までに到達させる。 消防官試験で出題される見込みのある時事問題について、テーマと内容を理解し知識を定着させるレベルに到達させる。 消防官試験の小論文問題について、題意の意図を把握し、適切な小論文記述することができるレベルに到達させる。						
【使用教科書・教材・参考書】 書名:公務員(東京アカデミー編) 人文・社会 消防官試験・過去問題			【授業外における学習】 自主的に学習計画を立て、着実に計画を実行することを期待します。特に小論文については近年の災害などからの出題が予想されます。災害のあった自治体からの情報を自身でチェックして、授業に出席してください。			
回	授 業 概 要		回	授 業 概 要		
	【授業単元】 過去問題演習 【授業形態】 演習・講義 【到達目標】 政治・経済・国語について、重要な論点を整理し把握する。			【授業単元】 小論文演習 【授業形態】 演習・講義 【到達目標】 東京・埼玉・横浜・千葉の自治体の過去小論文問題をテーマを押さえる。またテーマごとに注意点を踏まえ、800字以上書く。		
	【授業単元】 過去問題演習 【授業形態】 演習・講義 【到達目標】 政治・経済・国語について、重要な論点を整理し把握する。			【授業単元】 小論文演習 【授業形態】 演習・講義 【到達目標】 東京・埼玉・横浜・千葉の自治体の過去小論文問題をテーマを押さえる。またテーマごとに注意点を踏まえ、800字以上書く。		
	【授業単元】 過去問題演習 【授業形態】 演習・講義 【到達目標】 政治・経済・国語について、重要な論点を整理し把握する。			【授業単元】 小論文演習 【授業形態】 演習・講義 【到達目標】 東京・埼玉・横浜・千葉の自治体の過去小論文問題をテーマを押さえる。またテーマごとに注意点を踏まえ、800字以上書く。		
	【授業単元】 過去問題演習 【授業形態】 演習・講義 【到達目標】 政治・経済・国語について、重要な論点を整理し把握する。			【授業単元】 過去問題演習 【授業形態】 演習・講義 【到達目標】 日本史、世界史、地理について、東京消防庁の過去問題を演習し、重要な論点を整理し理解する。		
	【授業単元】 過去問題演習 【授業形態】 演習・講義 【到達目標】 政治・経済・国語について、重要な論点を整理し把握する。			【授業単元】 過去問題演習 【授業形態】 演習・講義 【到達目標】 日本史、世界史、地理について、東京消防庁の過去問題を演習し、重要な論点を整理し理解する。		
	【授業単元】 時事問題演習 【授業形態】 演習・講義 【到達目標】 テーマ別時事問題 厚生・労働・文部科学・社会問題			【授業単元】 公務員試験 模擬試験 【授業形態】 問題演習 解説講義 【到達目標】 小論文を除く、模擬問題演習を実施する。		
	【授業単元】 時事問題演習 【授業形態】 演習・講義 【到達目標】 テーマ別時事問題 厚生・労働・文部科学・社会問題			【授業単元】 公務員試験 模擬試験 【授業形態】 問題演習 解説講義 【到達目標】 小論文を除く、模擬問題演習を実施する。		
	【授業単元】 時事問題演習 【授業形態】 演習・講義 【到達目標】 テーマ別時事問題 厚生・労働・文部科学・社会問題			【評価について】 授業ごとに小テストか課題を与え、内容理解の確認をする。また定期試験として筆記試験を行なう。小テスト・課題40点・筆記試験60点、合計100点満点で評価する。詳細は、学則規定に準ずる。		
【特記事項】 本番試験において実力を出すためには日常の生活態度が重要です。日々の学習計画を立て、規律正しい生活を意識してください。						

科目名 (英)	総合救急医療Ⅱ	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員
	(Preparation for The National ExaminationⅡ)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	180時間 (12)	開講区分 曜日・時間
学科・コース	救急救命士科					
【授業の学習内容と心構え】 教育機関において広く研究や教育活動に携わってきた教員と、臨地実習における救急医療指導を行ってきた教員が、緊急度・重症度判定し、適切な救急救命処置を実施するための考え方を具体的かつ総合的に育んでいく。国家試験対策の一環であると同時に「シミュレーション実習Ⅲ」に紐づけることで、より実践的な学習になるように授業を共に構築していく。						
【到達目標】 ①合格ラインに到達することができる。 ②正解・不正解の根拠ともに理解し、説明することができる。 ③救急医学概論、救急病態生理学、救急諸工学、疾病救急医学、外傷救急医学、環境障害・急性中毒学で学んだことをシミュレーション実習で実践できる。 ④テキストや参考書の使い方及び反復学習の仕方を知得し、自己学習を習慣化できる。						
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士国家試験対策 出題分野別国試問題・解説集 A・B問題編 救急救命士国家試験対策 出題分野別国試問題・解説集 C・D問題編 改訂第2版補訂版JPTECガイドブック PEMECガイドブック2023				【授業外における学習】 授業以外の内容も交えながら、授業内で取り扱った国家試験の問題や実施済み各種模擬試験の見直しに取り組むこと。		
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要	
1・2	【授業単元】心肺停止 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①心肺停止に関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②心肺停止に対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。			17・18	【授業単元】運動麻痺 【授業形態】試験 【到達目標】 ①運動麻痺に関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②運動麻痺に対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。	
3・4	【授業単元】頭痛 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①頭痛に関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②頭痛に対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。			19・20	【授業単元】呼吸困難 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①呼吸困難に関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②呼吸困難に対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。	
5・6	【授業単元】外傷① 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①外傷に関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②外傷に対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。			21・22	【授業単元】喀血 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①喀血に関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②喀血に対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。	
7・8	【授業単元】外傷② 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①外傷に関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②外傷に対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。			23・24	【授業単元】吐血・下血 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①吐血・下血に関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②吐血・下血に対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。	
9・10	【授業単元】ショック 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①ショックに関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②ショックに対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。			25・26	【授業単元】一過性意識消失・失神 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①一過性意識消失・失神に関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②一過性意識消失・失神に対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。	
11・12	【授業単元】意識障害 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①意識障害に関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②意識障害に対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。			27・28	【授業単元】総合演習 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 これまでの学習を想起し、該当分野の問題の解答および解説ができる。	
13・14	【授業単元】痙攣 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①痙攣に関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②痙攣に対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。			29・30	【授業単元】総合演習 【授業形態】試験 【到達目標】 これまでの学習を想起し、該当分野の問題の解答および解説ができる。	
15・16	【授業単元】めまい 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①めまいに関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②めまいに対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。			【評価について】 本科目の評価は前期の中間試験と後期に実施する模擬模試結果の合計点で評価する。概要は以下のとおりである。 ≪前期≫ 中間試験(5択および記述試験) ≪後期≫ 下記の条件を全て満たすことで単位取得を認める。 ・第1回JESC模擬試験から第6回JESC模擬試験及びJESA模擬試験は、公欠等の特別な事由を除き、必ず当日に受験すること。 ・各種模擬試験で合格ライン未達の場合は、通常授業がある場合を除き、月曜日から金曜日まで補習を実施するが、公欠等の特別な事由を除き、全て出席すること。 ・第3回JESC模擬試験(12月)または、第4回JESC模擬試験(1月)のいずれかで合格ラインに到達すること。		
【特記事項】 ・遅刻や無断欠席は厳に慎むこと。 ・不明な内容は都度確認すること。						

科目名 (英)	総合救急医療Ⅱ	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
	(Preparation for The National ExaminationⅡ)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	180時間 (12)	開講区分	
学科・コース	救急救命士科					曜日・時間	
【授業の学習内容と心構え】 長年に渡り、救急救命士として消防機関において救急医療の現場に携わり、教育機関においても広く研究や教育活動に携わってきた教員と、臨地実習における救急医療指導を行ってきた教員が、緊急性・重症度判定し、適切な救急救命処置を実施するための考え方を具体的かつ総合的に育んでいく。学生自身が救急救命士の社会的な役割を実感できるような授業を共に構築していく。							
【到達目標】 ①合格ラインに到達することができる。 ②正解・不正解の根拠ともに理解し、説明することができる。 ③救急医学概論、救急病態生理学、救急諸工学、疾病救急医学、外傷救急医学、環境障害・急性中毒学で学んだことをシミュレーション実習で実践できる。 ④テキストや参考書の使い方及び反復学習の仕方を習得し、自己学習を習慣化できる。							
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士国家試験対策 出題分野別国試問題・解説集 A・B問題編 救急救命士国家試験対策 出題分野別国試問題・解説集 C・D問題編				【授業外における学習】 授業以外の内容も交えながら、授業内で取り扱った国家試験の問題や実施済み各種模擬試験の見直しに取り組むこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
31, 32	【授業単元】腰痛・背部痛 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①腰痛・背部痛に関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②腰痛・背部痛に対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。			47, 48	【授業単元】高齢者 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①高齢者に対する現場活動について説明できる。 ②上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。 ③高齢者に関連する問題を解くことができる。		
33, 34	【授業単元】胸痛 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①胸痛に関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②胸痛に対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。			49, 50	【授業単元】妊婦 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①妊婦に対する現場活動について説明できる。 ②上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。 ③妊婦に関連する問題を解くことができる。		
35, 36	【授業単元】動悸 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①動悸に関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②動悸に対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。			51, 52	【授業単元】精神障害 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①精神障害に対する現場活動について説明できる。 ②上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。 ③精神障害に関連する問題を解くことができる。		
37, 38	【授業単元】腹痛 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①腹痛に関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②腹痛に対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。			53, 54	【授業単元】中毒① 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①中毒に対する現場活動について説明できる。 ②上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。 ③中毒に関連する問題を解くことができる。		
39, 40	【授業単元】体温上昇 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①体温上昇に関連する人体の構造と機能について説明できる。 ②体温上昇に対する現場活動について説明できる。 ③上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。			55, 56	【授業単元】中毒② 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①中毒に対する現場活動について説明できる。 ②上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。 ③中毒に関連する問題を解くことができる。		
41, 42	【授業単元】多数傷病者対応 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①多数傷病者に対する現場活動について説明できる。 ②上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。 ③多数傷病者に関連する問題を解くことができる。			57, 58	【授業単元】環境障害① 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①環境障害に対する現場活動について説明できる。 ②上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。 ③環境障害に関連する問題を解くことができる。		
43, 44	【授業単元】在宅医療 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 ①在宅医療に対する現場活動について説明できる。 ②上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。 ③在宅医療に関連する問題を解くことができる。			59, 60	【授業単元】環境障害② 【授業形態】試験 【到達目標】 ①環境障害に対する現場活動について説明できる。 ②上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。 ③環境障害に関連する問題を解くことができる。		
45, 46	【授業単元】小児 【授業形態】試験 【到達目標】 ①小児に対する現場活動について説明できる。 ②上記内容を踏まえてシナリオを作成できる。 ③小児に関連する問題を解くことができる。			【評価について】 本科目の評価は前期の中間試験と後期に実施する模擬模試結果の合計点で評価する。概要は以下のとおりである。 ≪前期≫ 中間試験(5択および記述試験) ≪後期≫ 下記の条件を全て満たすことで単位取得を認める。 ・第1回JESC模擬試験から第6回JESC模擬試験及びJESA模擬試験は、公欠等の特別な事由を除き、必ず当日に受験すること。 ・各種模擬試験で合格ライン未達の場合は、通常授業がある場合を除き、月曜日から金曜日まで補習を実施するが、公欠等の特別な事由を除き、全て出席すること。 ・第3回JESC模擬試験(12月)または、第4回JESC模擬試験(1月)のいずれかで合格ラインに到達すること。			
【特記事項】 ・遅刻や無断欠席は厳に慎むこと。 ・不明な内容は都度確認すること。							

科目名 (英)	総合救急医療Ⅱ (Preparation for The National ExaminationⅡ)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
学科・コース	救急救命士科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	180時間 (12)	開講区分	
【授業の学習内容と心構え】 長年に渡り、救急救命士として消防機関において救急医療の現場に携わり、教育機関においても広く研究や教育活動に携わってきた教員と、臨地実習における救急医療指導を行ってきた教員が、緊急度・重症度判定し、適切な救急救命処置を実施するための考え方を具体的かつ総合的に育んでいく。学生自身が救急救命士の社会的な役割を実感できるような授業を共に構築していく。							
【到達目標】 ①合格ラインに到達することができる。 ②正解・不正解の根拠ともに理解し、説明することができる。 ③テキストや参考書の使い方及び反復学習の仕方を習得し、自己学習を習慣化できる。							
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士国家試験対策 出題分野別国試問題・解説集 A・B問題編 救急救命士国家試験対策 出題分野別国試問題・解説集 C・D問題編				【授業外における学習】 授業以外の内容も交えながら、授業内で取り扱った国家試験の問題や実施済み各種模擬試験の見直しに取り組むこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
61, 62	【授業単元】演習 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 模擬試験をととして、苦手分野を克服する。			77, 78	【授業単元】演習 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 模擬試験をととして、苦手分野を克服する。		
63, 64	【授業単元】演習 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 模擬試験をととして、苦手分野を克服する。			79, 80	【授業単元】演習 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 模擬試験をととして、苦手分野を克服する。		
65, 66	【授業単元】演習 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 模擬試験をととして、苦手分野を克服する。			81, 82	【授業単元】演習 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 模擬試験をととして、苦手分野を克服する。		
67, 68	【授業単元】演習 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 模擬試験をととして、苦手分野を克服する。			83, 84	【授業単元】演習 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 模擬試験をととして、苦手分野を克服する。		
69, 70	【授業単元】演習 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 模擬試験をととして、苦手分野を克服する。			85, 86	【授業単元】演習 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 模擬試験をととして、苦手分野を克服する。		
71, 72	【授業単元】演習 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 模擬試験をととして、苦手分野を克服する。			87, 88	【授業単元】演習 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 模擬試験をととして、苦手分野を克服する。		
73, 74	【授業単元】演習 【授業形態】講義・演習・小テスト 【到達目標】 模擬試験をととして、苦手分野を克服する。			89, 90	【授業単元】演習 【授業形態】講義、演習 【到達目標】 模擬試験をととして、苦手分野を克服する。		
75, 76	【授業単元】演習 【授業形態】試験 【到達目標】 模擬試験をととして、苦手分野を克服する。			【評価について】 本科目の評価は前期の中間試験と後期に実施する模擬模試結果の合計点で評価する。概要は以下のとおりである。 ≪前期≫中間試験(5択および記述試験) ≪後期≫下記の条件を全て満たすことで単位取得を認める。 ・第1回JESC模擬試験から第6回JESC模擬試験及びJESA模擬試験は、公欠等の特別な事由を除き、必ず当日に受験すること。 ・各種模擬試験で合格ライン未達の場合は、通常授業がある場合を除き、月曜日から金曜日まで補習を実施するが、公欠等の特別な事由を除き、全て出席すること。 ・第3回JESC模擬試験(12月)または、第4回JESC模擬試験(1月)のいずれかで合格ラインに到達すること。			
【特記事項】 ・遅刻や無断欠席は厳に慎むこと。 ・不明な内容は都度確認すること。							

科目名 (英)	健康と社会保障 (Health and Social Security)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・コース	救急救命士科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日・1～2時限
【授業の学習内容と心構え】 看護師資格を有し、救急救命士として現場活動に従事すると共に、東京消防庁救急部医療課・管理課職員としても幅広く救急医療についての経験を積んだ教員が授業を行う。救急現場における症例に触れながら健康と社会保障に関する知識習得を目的とした授業を行う。プロフェッショナルとして将来の救急医療を担っていくために必須となる知識であり、自身を含めた国民全体の健康を支える仕組みについて日頃から興味を持つきっかけとして活用してほしい。また、医療を取り巻く環境と社会保障についても扱うため、救急救命士としてどのように社会貢献をしていきたいのか熟考する機会となることを望む。							
【到達目標】 保険医療制度・社会保障制度の仕組みと現状に関わる基礎知識と、関連する医療現場で使われる用語について説明できる。 チーム医療と、その一翼を担う救急救命士の役割について知ることが出来る。							
【使用教科書】 改訂第10版 救急救命士標準テキスト				【授業外における学習】 専門用語が頻繁に出てくるため、あらかじめ教科書(p24-63)を読み、予習しておくこと。各章の冒頭に記載されている「到達目標」と各項「Point!」を確認してまとめておくほか、関連するニュース記事等を調べておくことと良い。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 公衆衛生の仕組み 【授業形態】 講義 【到達目標】 健康の定義が言え、影響する因子を4つ以上説明できる。 公衆衛生とは何か説明できる。 公衆衛生に関連する行政組織について説明できる。			9	【授業単元】 社会保障と社会福祉の仕組み① 【授業形態】 講義 【到達目標】 社会保障と社会福祉の仕組みについて説明できる。社会保障に関わる費用の動向について説明できる。		
2	【授業単元】 医療を取り巻く環境 【授業形態】 講義 【到達目標】 少子高齢化について説明できる。 我が国の総人口・平均寿命・健康寿命についておよその数値が言える。死亡原因5位まで挙げることができる。我が国最大の感染症とその罹患率について先進国との関係性が言える。			10	【授業単元】 社会保障と社会福祉の仕組み② 【授業形態】 講義 【到達目標】 社会保障と社会福祉の仕組みについて説明できる。社会保障に関わる費用の動向について説明できる。社会保障の国民負担率について諸外国との比較について説明できる。		
3	【授業単元】 医療供給体制① 【授業形態】 講義 【到達目標】 保険医療従事者の資格を3つ挙げ、その関係性とおよその有資格者数が言える。医療圏の区分3つが言える。医療計画重点項目の5疾病5事業が言える。在宅医療と地域包括ケアの対象者が言える。			11	【授業単元】 社会保険と制度① 【授業形態】 講義 【到達目標】 社会保険制度の5種類が言える。社会保険の保険者と被保険者について説明できる。医療保険制度3つを言える。介護保険制度の保険者と被保険者について説明できる。公的年金保険制度について具体的に説明することができる。		
4	【授業単元】 医療供給体制②・環境保健 【授業形態】 講義 【到達目標】 例年発生する食中毒患者の概数と多発する時期が言える。我が国の下水道普及率の概数が言える。環境基準が定められている物質を3つ以上挙げることができる。我が国における公害事件を2つ以上上げることができる。			12	【授業単元】 社会保険と制度② 【授業形態】 講義 【到達目標】 社会保険制度の5種類が言える。社会保険の保険者と被保険者について説明できる。医療保険制度3つを言える。介護保険制度の保険者と被保険者について説明できる。公的年金保険制度について具体的に説明することができる。		
5	【授業単元】 労働衛生・学校保健・母子保健を支える仕組み① 【授業形態】 講義 【到達目標】 我が国の就労人口と労働災害死傷者数についておよその数を用いて説明できる。何名以上の事業所で産業医を選任する必要があるか言える。学校管理下での死亡数概算と予防策を3つ以上言える。			13	【授業単元】 社会福祉と制度① 【授業形態】 講義 【到達目標】 生活保護法における保護の種類8つが言える。児童虐待の4タイプが言える。高齢者福祉サービス施設について説明できる。高齢者虐待の現状と背景について説明できる。		
6	【授業単元】 労働衛生・学校保健・母子保健を支える仕組み② 【授業形態】 講義 【到達目標】 出生率・乳児死亡率・妊産婦死亡率の概算が言える。乳幼児健診の受診率が言える。母子保健を支える仕組みを理解する。			14	【授業単元】 社会福祉と制度② 【授業形態】 講義 【到達目標】 母子及び寡婦福祉の現状とその背景について具体的な数字を挙げて説明できる。障害者の定義が言え、各種障害者手帳所持者数の概算が言える。		
7	【授業単元】 地域保健・高齢者・精神保健を支える仕組み 【授業形態】 講義 【到達目標】 地域保健を支える中心となる組織とその役割を理解する。高齢者を支える仕組みを理解する。精神保健福祉を支える仕組みを理解し、入院形態の違いを説明することができる。			15	【授業単元】 定期試験・終了後の解答解説 【授業形態】 【到達目標】 わからない問題の洗い出しをし、課題を抽出する。 抽出された課題の何が分らなかったのかを特定する。		
8	【授業単元】 定期試験・終了後の解答解説 【授業形態】 【到達目標】 わからない問題の洗い出しをし、課題を抽出する。 抽出された課題の何が分らなかったのかを特定する。			【評価について】 評価は筆記試験で行う。授業内で確認した、専門的な知識・技術の理解、定着度を確認する。筆記試験は、中間試験(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 毎授業において、指示した内容は必ずメモを取ること。講義において、ノート丁寧にとること。							